

株式会社村田製作所

ネットワーク最適化とコミュニケーションの共通プラットフォームで グローバルビジネスを加速

導入サービス：Arcstar UCaaS
Arcstar Universal One



株式会社村田製作所
情報技術企画部 情報技術活用推進課
シニアマネージャー 坂森 孝洋 氏

「一通りコミュニケーションプラットフォームとしての基盤が標準化、最適化できました。今後は更なる有効活用、更にスピーディーなビジネス対応、新サービスの導入展開を進めたい。」



株式会社村田製作所
情報技術企画部 情報技術活用推進課
シニアスペシャリスト 河角 正次 氏

「こちらの依頼の背景・目的を把握したうえで、パートナーとして提案してくれる点を感じています。」

企業情報

社名 株式会社村田製作所

事業概要 総合電子部品メーカー（セラミックスをベースとした電子部品の開発・生産・販売）

URL <https://www.murata.com/>

課題

- ・加速するビジネスを支える NW インフラの構築・運用
- ・拡大・変化する組織のコミュニケーション効率化

対策

- ・グローバルネットワークを Arcstar Universal One に集約
- ・世界中で共通のコミュニケーションプラットフォーム

効果

- ・ネットワーク構成のシンプル化、品質向上、フレキシブルな対応
- ・グローバルでの活発なコラボレーション
- ・意思決定のスピードアップ

課題

地域別の階層型ネットワークの変革 効率的なコミュニケーションの追求

株式会社村田製作所は「グローバル No.1 の部品メーカーとして持続的に成長し続ける」というビジョンを掲げ、主要ビジネスである通信市場事業を強化する一方、自動車、エネルギー、ヘルスケアなど注力市場への事業拡大に向けて積極的に活動。海外売上高比率約 90% 超という、突出したグローバル企業である。

激しい市場変化に即応するべく有機的に協働する「バリューネットワーク」を築き、お客様に価値を提供することを目指す中で、(新たなコミュニケーション基盤として) グローバルにスピーディーに対応できるコミュニケーションインフラを再構築しなければならないと考えていた。

株式会社村田製作所 情報技術企画部 シニアマネージャー 坂森孝洋氏は、「システムのグローバル化の推進やクラウド利用等が進み、国際トラフィックが増大し、従来のリージョンごとに構築した階層型ネットワークでは品質とスピードを保つことが難しくなり、ビジネスのスピードに対しインフラが足かせとなるリスクがでてきました。また、組織やビジネスパートナーが拡大する中で、グローバルでいつでもどこでも社内外の関係者とコミュニケーションがとれる、電話番号がわからなくても連絡がとれる、相手の状態をみて連絡がとれる、こうしたコミュニケーションがビジネスのスピードや質を決める重要なファクターの一つとなりました。そのため、プレゼンス、スケジュール等の、コミュニケーションインフラを充実させなければならないと考えたのです。」と語る。

対策

グローバルネットワークを Arcstar Universal One に集約 ツールをシームレスに連携し共通PFに

同社はパートナーに NTT コミュニケーションズ（以下、NTT Com）を選定しネットワークとして Arcstar Universal One を、コミュニケーションのプラットフォームとして Arcstar UCaaS と Cisco WebEx® を採用。クラウド PBX としての Arcstar UCaaS, 社内外をつなぐ Web 会議サービスの Cisco WebEx をユニファイドコミュニケーション用アプリケーションである Cisco Jabber® でリンクさせ、世界中どこでも同じインターフェースで使えるコミュニケーションの共通プラットフォームを生み出した。

坂森氏は「ネットワークを敷くことが目的ではなく、その上で何ができるか、が重要です。国内だけでなく海外でも高い品質でサービス提供してくれる点、他サービスもラインナップが揃っている点、さらに将来に渡り自社サービスだけにこだわらず、パブリッククラウドなど他社サービスも含め、しっかり提案してくれそうだ、という期待感が選定のポイントでした。」と振り返る。

ネットワークの再構築は中国、ASEAN、欧州、米国のエリアごとに約2年で実施。最終的に計100回線以上のネットワークを Arcstar Universal One 配下に切り替えた。情報技術企画部 シニアスペシャリスト 河角正次氏は「特に稼働を止めることができない工場、時差の大きい海外地域の対応はネットワーク調達、現地スケジュール調整も含め大変でしたが、NTT Com と連携しながら進め、完了できました。」と語る。懸案であった Web 会議、チャットツールの導入を完了し、音声通話の連携は日本国内の全拠点導入を終えて、現在中国、ASEAN の展開を実施しているところだ。

効果

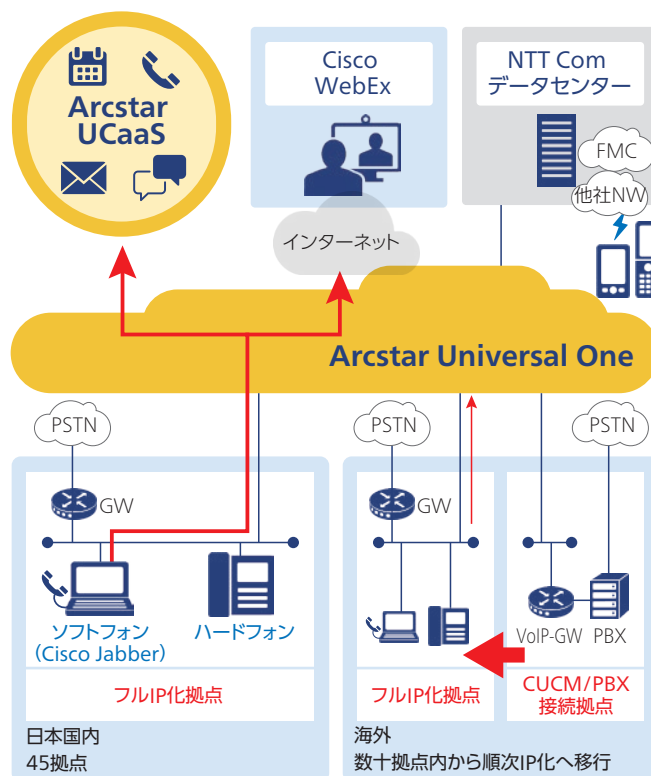
品質向上、状況把握も可能に 活発なコラボレーションがビジネスを加速

NTT Com の基盤に置換していった過程を坂森氏は「グローバルでのネットワーク状況が可視化できるようになりました。障害が発生してもすぐに把握できる安心感は大きいですし、基盤を統一したことで国ごとのインフラレベル・対応力が把握できるようになりました。」と語る。

ネットワーク構成がシンプルになり、品質が向上するとアプリケーション

シオン層も安定し、Arcstar UCaaS や Web 会議も音声品質の維持向上を実現。約2万 ID を投じた Arcstar UCaaS および Cisco WebEx はどこからでもすぐにつながり、コミュニケーションスタイルをドラスティックに変えた。約18,000件/月のWeb会議が社内のみならず、お得意先や外部パートナー様とも開催され、コラボレーションによる意思決定が加速。海外や遠隔地同士はもちろん、近くにいってもあえてオンラインで会議を行うのは会議室予約不要、ペーパーレスで、メンバーの都合を確認後、短時間でもすぐにコミュニケーションがとれる、場所を選ばないメリットが大きいという。グローバルでコミュニケーションの品質・スピード・効率を追求する同社では、コミュニケーションに使うインフラの整備に対し経営トップの理解も深く、力を置いている。

坂森氏は今後の展開と NTT Com への期待について、「一通りコミュニケーションプラットフォームとしての基盤が標準化、最適化できました。今後は更なる有効活用、更にスピーディーなビジネス対応、新サービスの導入展開を進めたいです。帯域を有効利用した動画配信やビッグデータ解析など、現場ニーズにさらに応えたい。CS（顧客満足）とES（従業員満足）はもっとも大切な価値観。それを支える1つにコミュニケーションインフラが不可欠で、NTT Com には更なる総合的なサポートを期待しています。パートナーと Win-Win の関係を築くのが我々のポリシーですので、ディスカッションしながら一緒に模索して、共に成長できると良いですね。」と語った。



お問い合わせ先

NTTコミュニケーションズ株式会社

法人のお客さまお問い合わせ窓口 [法人コンタクトセンター]



0120-106107 受付時間 9:30~17:00

※携帯電話、PHSからご利用いただけます。土・日・祝日・年末年始は休業とさせていただきます。

ホームページ

<http://www.ntt.com/business/services/voice-video/uc-conferencing/conferencing.html>

●記載内容は2018年1月現在のものです。

●表記のサービス内容は予告なく変更することがありますので、お申し込み時にご確認ください。

●フリーダイヤルのサービス名称とロゴマークはNTTコミュニケーションズの登録商標です。

●記載されている会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。